

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 15 日

事務事業名		療育相談事業 (ことば・発達相談)					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	010202000345
							単独/補助	単独		
政策体系上の位置付け									所属課	040401 健康推進課
政策体系	総合計画の施策名	0102 健康づくりの推進							課長名	
	政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり							グループ	健康づくり
	施策名	02 健康づくりの推進							担当者名	
	手段名	02 ②母子支援体制の充実								
財務会計上の位置付け							事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (平成18年度～)	
	01	04	01	01	03	00	母子衛生事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠	母子保健法									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 対象は、乳児から小学校就学前で各健診や相談で発育・発達面で気になる親子や医療機関や保健所等から発達の遅れで紹介のあった児。個別指導を月1回1人1時間実施 (名称:たんぽぽ教室) H29年度より休止していた集団指導を令和2年度より再開した。(名称:つぼみ教室) H27年度より発達相談事業 (臨床心理士の支援 名称:こあら教室)、H31年度より (言語聴覚士の支援 名称:うさぎ教室) を月1~2回実施している。令和5年度より市の事業として園の巡回相談を開始した。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 事業内容の企画検討。対象者への参加勧奨、事業終了後の話し合い、報告書作成、関係機関や就学指導委員会との連携、経過観察児への事後支援。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
事業内容の企画検討。対象者への参加勧奨、事業終了後の話し合い、報告書作成、関係機関や就学指導委員会との連携、経過観察児への事後支援。	開催回数	回	50.00	55.00	55.00	55.00	55.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
発達や情緒面、親子関係等経過をみる必要のある児と保護者	1歳6か月児健診~5歳児健康相談受診者	人	553.00	609.00	609.00	609.00	609.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
発達に遅れのある児が早期に療育を開始できる。	教室参加者 (延)	人	242.00	229.00	240.00	240.00	240.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	05年度		06年度		07年度		08年度		09年度		期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	(目標)					
		国庫支出金	千円	0	0	0							
		県支出金	千円	0	0	0							
		地方債	千円	0	0	0							
		使用料・手数料	千円	0	0	0							
		その他	千円	0	0	0							
		一般財源	千円	1,089	2,543	2,042							
		事業費計 (A)	千円	1,089	2,543	2,042							
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人							

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)				07年度事業費 予算 (千円)			
	07 報償費	1,840			07 報償費	1,388		
	10 需用費	10			10 需用費	42		
	12 委託料	693			12 委託料	612		
	合計			2,543	合計			2,042

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	発達相談・ことばの教室、個別・集団療育教室を実施していく。 また、認定こども園の巡回発達相談も実施する。	発達相談・ことばの教室、個別・集団療育教室を実施していく。 また、認定こども園の巡回発達相談も実施する。	発達相談・ことばの教室、個別・集団療育教室を実施していく。 また、認定こども園の巡回発達相談も実施する。

事務事業名	療育相談事業（ことば・発達相談）	事務事業No.	10202000345	所属課	健康推進課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和58年ボーテジ教室を旧岩瀬町で開催、平成12年より旧真壁町・大和村にて「遊びの教室」を開催し、乳幼児健診の事後指導の場を確保した。対象年齢や小集団・個別などの指導法により様々な教室を開催し療育相談を実施してきた。令和4年度より、利用希望者が増加したことから、うさぎ教室の開催回数を増やした。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
身近な場所で、専門家による市主催の療育指導が受けられてよい。同じ悩みを持つ保護者同士の交流ができる。また療育相談事業を通して、早期に学校教育課に就学の相談ができたことで早くから考えることができよかつたとの意見もあった。学校教育課からも保護者と早期に面接ができ就学指導がスムーズにいとっているとの声もあった。保護者からは、回数を増やして欲しいとの声もでている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 後期基本計画「1-2-2母子支援体制の充実」に合致。障害のある児やその疑いのある児と保護者が、地域で安心して生活できる体制が必要である。市の障害者計画の早期発見・早期療育の充実位置づけられている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 発達障害者支援法で早期発見及び早期支援等、技術的援助を行うよう定められている。また、各医療機関や療育施設等と連携しながら早期支援を図る必要がある。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input type="checkbox"/> 向上余地がない 各種健診で発達の気になる児やことばの遅れ等ある児の保護者には教室の参加推奨をしているが、参加を希望しない保護者もいるため受容しながら療育支援を行っていく必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 障害児や発達障害の疑いのある児の発見や早期支援ができなくなるだけでなく、市内に療育施設に限られているため集団生活や就学後の児の抱える問題や保護者の子育てへの不安が大きくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 障害福祉サービスを担当する社会福祉課や児童発達支援事業との連携が可能。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がない 療育指導員等の専門職種の確保は療育指導の精度を高め維持するためにも必要である。また、療育指導員の人件費を令和元年度に見直しており、これ以上の削減余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 相談や健診受診時に、経過観察が必要な児については専門職種の相談に向けているので公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	ことばの遅れや多動傾向など相談の機会や療育支援が必要な児に対し療育教室希望者が増加する場合もあり、適切な時期に支援が受けられない状況もあった。回数で見直しの検討や児童発達支援サービスの利用に結びつけるなどの方法が必要である。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持		○			低下				
成果	向上	コスト																			
		削減	維持	増加																	
維持		○																			
低下																					
本市には、発達障害の診断や診療を行っている医療機関がないため、発達が気になる場合の受診先は、殆どの児が近隣市である筑西市の医療機関となっている。医療機関の受診は、保護者にはハードルが高く、受診するタイミングが遅れてしまう事例がある。発達障害を早期に発見し、適切な時期に医療機関と地域の教育や福祉などの関係機関が連携し支援することは、その後の二次障害や不応を未然に防ぐために重要となる。医療機関に療育相談事業を委託すること等により、受診前から医療機関と地域の関係機関が連携し、受診が必要な児童を早期に医療につなぐとともに、受診後も関係機関が連携して切れ目のない支援体制を構築する必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>